平成25年3月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年１月28日

上場会社名　株式会社エスクリ　上場取引所　東
コード番号　2196　URL http://www.escrit.jp/
代表者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　岩本 博
問合せ先責任者　(役職名)　取締役上級執行役員管理本部管掌　(氏名)　杉山 慎一郎　(TEL)03-5410-8822
四半期報告書提出予定日　平成25年２月８日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　(機関投資家・アナリスト向け　)

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	9,181	18.9	688	12.1	642	12.6	370	53.5
24年３月期第３四半期	7,719	46.6	613	△2.3	570	△4.8	241	△32.4

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年３月期第３四半期	32.38	31.33
24年３月期第３四半期	21.49	21.10

四半期経営成績に関する注記

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	9,295	2,320	24.8
24年３月期	7,099	1,895	26.6

(参考) 自己資本　25年３月期第３四半期　2,305百万円　24年３月期　1,887百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年３月期	―	0.00	―		
25年３月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

当該配当金予想に関しましては、本日平成25年１月28日公表の「平成25年３月期配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,571	26.5	1,481	37.8	1,415	39.3	853	29.4	75.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

当社は、平成24年９月１日を効力発生日として、普通株式１株につき３株の株式分割を行っております。このため、平成25年３月期の通期の１株当たり当期純利益については、当該株式分割が期首に行われたと仮定して算出しております。詳細は、次ページ「(※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)」をご覧ください。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　有

④　修正再表示　：　無

（注）「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第５条の４に該当するものであります。詳細は、添付資料のP.３「２.サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	11,552,700株	24年３月期	11,353,500株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	606株	24年３月期	606株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	11,432,197株	24年３月期３Ｑ	11,224,797株

（注）当社は、平成24年９月１日を効力発生日として、普通株式１株につき３株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（株式分割に伴う遡及修正値）

当社は、平成24年９月１日を効力発生日として、普通株式１株につき３株の株式分割を行っております。このため、平成25年３月期の通期の１株当たり当期純利益については、当該株式分割が期首に行われたと仮定して算出しております。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第３四半期決算短信 添付資料P.２「１.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は以下のとおり機関投資家およびアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成25年1月28日（月）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国の経済状況は、東日本大震災からの復興需要や政権交代後の円安および株高の進行等、景気回復への期待が高まる一方で、欧州債務危機をめぐる海外景気の不確実性は高く、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境下、当社は「施設スタイルにこだわらない都市型ブライダルオペレーター」として、東京23区および政令指定都市に展開した挙式・披露宴施設の運営を継続してまいりました。

具体的な新規施設の開業については、平成24年６月に専門式場スタイルである「シャルマンシーナＴＯＫＹＯ」(表参道事業所)をオープンいたしました。さらに、平成24年12月に八重洲事業所を施設拡大し、レストランスタイルである「アンジェリオン オ プラザ ＴＯＫＹＯ」をオープンいたしました。これにより平成24年12月31日現在における当社の施設数は11施設、バンケット数は26バンケットとなっております。

また、平成24年12月には平成25年春開業予定の「アルマリアン ＦＵＫＵＯＫＡ」（天神事業所）の受注活動を開始いたしました。

この結果、当第３四半期累計期間の業績は、売上高9,181,244千円(前年同期比18.9％増)、営業利益688,257千円(前年同期比12.1％増)、経常利益642,027千円(前年同期比12.6％増)、四半期純利益370,192千円(前年同期比53.5％増)となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期会計期間末における資産総額は9,295,677千円となり、前事業年度末と比較して2,196,551千円の増加となりました。その主な要因は、新規出店等に伴い有形固定資産が2,046,366千円、敷金及び保証金が193,725千円増加したこと等によるものであります。

当第３四半期会計期間末における負債総額は6,975,259千円となり、前事業年度末と比較して1,772,069千円の増加となりました。その主な要因は、前受金が131,676千円増加、運転資金および設備資金の借入による長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)が1,341,395千円増加したこと等によるものであります。

当第３四半期会計期間末における純資産総額は2,320,418千円となり、前事業年度末と比較して424,481千円の増加となりました。その主な要因は、資本金が24,017千円および資本剰余金が24,017千円それぞれ増加し、また四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が370,192千円増加したこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第３四半期累計期間の業績は順調に推移しており、通期の業績予想につきましては、平成24年５月11日公表の業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ18,724千円増加しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,401,982	1,288,053
売掛金	27,745	38,105
原材料及び貯蔵品	42,534	54,871
その他	264,163	296,918
貸倒引当金	△802	△848
流動資産合計	1,735,623	1,677,101
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,010,403	4,752,440
建設仮勘定	87,978	287,556
その他（純額）	457,714	562,465
有形固定資産合計	3,556,096	5,602,463
無形固定資産	178,156	175,701
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,379,790	1,573,516
その他	249,459	266,895
投資その他の資産合計	1,629,250	1,840,411
固定資産合計	5,363,502	7,618,576
資産合計	7,099,126	9,295,677
負債の部		
流動負債		
買掛金	438,602	457,332
1年内返済予定の長期借入金	965,100	1,237,207
リース債務	89,352	110,219
未払法人税等	351,318	259,687
前受金	454,326	586,003
賞与引当金	－	65,338
その他	867,658	1,084,571
流動負債合計	3,166,358	3,800,361
固定負債		
長期借入金	1,465,958	2,535,245
資産除去債務	341,376	467,798
リース債務	98,661	76,713
その他	130,834	95,140
固定負債合計	2,036,830	3,174,897
負債合計	5,203,189	6,975,259

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	498,527	522,544
資本剰余金	456,527	480,544
利益剰余金	932,216	1,302,409
自己株式	△126	△126
株主資本合計	1,887,145	2,305,372
新株予約権	8,792	15,046
純資産合計	1,895,937	2,320,418
負債純資産合計	7,099,126	9,295,677

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	7,719,369	9,181,244
売上原価	2,599,392	2,935,225
売上総利益	5,119,977	6,246,018
販売費及び一般管理費	4,506,204	5,557,760
営業利益	613,773	688,257
営業外収益		
受取賃貸料	6,360	6,006
協賛金収入	4,646	2,452
その他	4,001	2,014
営業外収益合計	15,007	10,472
営業外費用		
支払利息	51,132	47,472
その他	7,516	9,230
営業外費用合計	58,648	56,702
経常利益	570,132	642,027
特別利益		
新株予約権戻入益	－	2,357
特別利益合計	－	2,357
特別損失		
固定資産除却損	1,411	－
特別損失合計	1,411	－
税引前四半期純利益	568,720	644,385
法人税、住民税及び事業税	276,178	274,778
法人税等調整額	51,340	△585
法人税等合計	327,519	274,193
四半期純利益	241,200	370,192

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。